

◆ 鷹尾 維教 【たかお ゆきのり】 重要指定文化財総合認定能楽



1964年 福岡県福岡市出身。

56世 梅若六郎(現 玄祥)師、父 鷹尾祥史に師事。

2歳 「仕舞」 初舞台。

4歳 「能」 子方初舞台。

9歳 「能」 初シテ。

18歳 梅若六郎師に入門。

27歳 独立。

35歳 「博多楽(能楽と音楽を気軽に楽しむ会)」を結成。

37歳 「鷹の会(兄弟で能の研究と普及を目的とする会)」を結成。

～鷹の会活動～

兄弟で大曲を披き、野外能・ホテルでのディナーショーや現代空間を生かした能の公演も積極的に行う。

学生向けワークショップ 公演での実績

過去11年にわたり、幼稚園、小、中、高校、大学、専門学校、聾盲学校など200校以上を訪問し、子供たちに楽しさやむずかしさを伝える。

ワークショップや公演を通して、能の内容に限らず経験談を交えながら、日本の魅力や文化を守る、そして残していく大切さ、人が本来生きていくべき考え方、挨拶の重要性、言葉の重みなど最近忘れられている「人」のあるべき姿などを伝えている。

また、メディアにも多数出演し、演劇の演出・脚本・他ジャンルとの舞台共演も行う。

梅若六郎師と共に、海外での公演にも多数参加。

今後の活動への思い

能にとどまらず、テレビやラジオ、公演などを通じ、能の素晴らしさ、パワー、言葉の重要さなどを一人でも多くの方に伝え、もう一度日本文化の良さ、すごさを伝える活動をすることを目標に活動していきます。

株式会社 ASPREAD

HP <http://www.ap-aspread.com>